

平成28年度 南魚沼市 生活科部 活動報告

南魚沼市立栃窪小学校 宇佐美 宏保

研究部の組織 会員数16名

部長	宇佐美 宏保 (栃窪小学校)	副部長	福井 玲子 (第一上田小学校)
推進委員	井上 千恵美 (湯沢小学校)		平石 友紀 (城内小学校)
	樋口 智哉 (塩沢小学校)		
幹事	清野 美香 (六日町小学校)		

1 研究主題 「学ぶ喜びを味わえる授業づくりはどうあったらよいか」

2 研究推進の概要

- (1) 郡市教育振興会・第1回部会
期日：平成28年 5月 2日 (月)
会場：六日町中学校
内容：研究組織及び計画作成
- (2) 全体研修会・第2回部会
期日：平成28年 8月19日 (金)
会場：六日町小学校
内容：実践レポートの持ち寄り研修



全体研修会・第2回部会の様子 (8/19)

3 研究の成果と今後の課題

(1) 研修全体会の概要

第2回部会は、夏季休業中の平日午前9時00分から開催した。全会員のうち11名が参加した。少人数の利を生かし時間をかけて、研究主題に基づき発表と協議を行った。また後段、紙を使った簡単な「回るおもちゃ作り」の実技研修を行った。

(2) 会員の実践から

① 「学ぶ喜びを味わえる生活科の授業づくり」

- 自ら気づき、深め、広げていくことが学ぶ喜びを味わう授業づくりにつながると考えた。その方策として自然や社会とのかかわりの中で、子どもたちが自ら気付く課題設定が重要である。育てた野菜の成長の様子に気付かせたり、町探検で町の様子や工夫に気付かせたりし、それが自分たちの生活にどのように結びついているかを考えさせることで学習を深めることができる。また、個々の気づきを学習の成果として示すことが、子どもたちにとってさらなる喜びを感じさせることができると考えた。その実践が「やさしいパーティー」での友達やお家の方との会食の実践である。〈一部改変〉

(中之島小学校 今井 雄一郎教諭レポートより)

② 「せんせいとなかよくなるう大作戦」(1学年)

- 「自分が見つけた!」「自分でできた!」という喜びをたくさん味わっていくことが、「さらに学びたい」という気持ちにつながっていく。「せんせいとなかよくなるう大作戦」では、子どもたちが一人でも多くの先生からサインをもらおうと進んで活動する姿が見られた。

このことの繰り返しによって子どもの意欲が高まっていくのだと感じた。

(城内小学校 平石 友紀教諭レポートより)

(3) 成果・今後の予定

時間に余裕があり、協議の観点に沿って各自のレポートを時間をかけて発表できた。その後グループ毎に意見交換をしたり、感想を出し合ったりして代表者による全体発表を行った。今後も、テーマを決めてレポートを作成しグループ毎に協議を深める研修を継続していく。